



ボーイスカウトとあそぼう!

ワクワク

自然体験あそび



緑ヶ丘公園で遊ぼう

2022年11月20日(日)

緑ヶ丘公園 くもじ・にじいろ館前広場

みんな、野原や山で思いっきり遊んだことはありますか?
しぜんの中にはワクワク楽しいことがいっぱい!
わたしたちボーイスカウトは、いつもしぜんの中でいろんなことを
楽しみながら学んでいます。
ぜひ、たくさんのお友だちといっしょに遊びましょう!!

日時：11月20日(日) 10:00~12:00

場所：緑ヶ丘公園 くもじ・にじいろ館前広場

対象：小学2年生~4年生 とその保護者

緑ヶ丘公園で思いっきり遊んでみませんか。
ロープワーク教えちゃいます。
ドームテントを立てよう。
緑ヶ丘公園を探検しよう。



主催：日本ボーイスカウト沖縄県連盟那覇第4団



※写真はイメージ写真です。当日の内容は、ちらし内をご確認ください。



ボーイスカウトとあそぼう!

ワクワク

自然体験あそび

<保護者の皆さまへ>

ボーイスカウト運動は、野外を活動の場として青少年の健全育成に取り組む世界的なボランティアの教育運動です。この度、ボーイスカウト日本連盟では、新型コロナウイルス感染症への対応が及ぼす子どもたちの生活への影響、特に外で思いっきり遊べない、友だちと遊べないなどの影響を考慮した自然体験活動推進事業に取り組んでおります。この事業は、お住いの地域のボーイスカウトにより、子どもたちに自然体験活動の機会を提供するものです。子どもたちが自然とのふれあいを取り戻し、コロナ禍であっても安心して、楽しく遊ぶことを通じて、子どもたちの健全な成長へとつながることを願っております。

ぜひ、この機会にご参加ください。

ホームページ

<https://www.scout.or.jp/>

対象：小学2年生～4年生 と保護者

日時：11月20日（日） 集合：10:00 解散：12:00

場所：緑ヶ丘公園 くもじ・にじいろ館前広場

（住所 那覇市牧志1-6-55）

持ち物：活動しやすい服装、水筒、マスク、カップ、軍手
エンピツ、A4下敷き

費用：無料

連絡先：niraikanaiysmt@gmail.com

定員：親子10組

申し込み：右のQRコードよりお申し込みください。

参加者（保護者含む）の方には、主催者にてレクリエーション保険を付保しますので、参加者名簿の作成にご協力ください。

参加申し込み等
はこちら



<留意事項>

- ◆参加者は必ずマスクをしてください。また、当日の体温測定にご協力ください。
- ◆体調不良などで参加をキャンセル場合は、上記「連絡先」までご一報ください。
- ◆新型コロナウイルス感染症予防のためご留意いただきたいことを、申込ページからご案内しておりますので、ご確認のうえ、ご参加ください。
- ◆その他詳細に関しては、主催からのご案内をご確認ください。

主催：日本ボーイスカウト沖縄県連盟那覇第4団



ワクワク自然体験遊び（緑ヶ丘公園で遊ぼう）企画書

開催日時:2022年11月20日(日)10:00~12:00

場所:緑ヶ丘公園 くもじ・にじいろ館前広場

対象:体験参加者(小学2年生~4年生)とその保護者

人数:親子10組(20名程度)

08:00 スタッフ集合・準備開始

タープテント・テーブル・イスなどの会場設営

09:45 受付開始

10:00 ロープワーク体験(15分間)

ボーイ隊が主体となって、体験参加者親子に対し簡単なロープワーク体験を行う
体験参加希望者が全員集まるのを待つ。

10:15 開会式(15分)

1. 開会の辞(松本団委員長)

2. 体験プログラム説明(吉元)

保護者の部:にじいろ館前にて

ボーイスカウト講習会簡易版

体験者プログラムを口頭で説明

小学生の部:ボーイ隊スカウトが中心になってプログラム展開する事を説明。

ボーイ隊スカウトと仲本BS隊長、照屋CS隊長を紹介

ボーイ隊スカウト:又吉忠仁君、仲本興亮君

10:30 保護者の部(にじいろ館前にて)(75分)

ボーイスカウト講習会簡易版(45分)

※講師:川端県コミ

体験者(小学生)プログラム内容を説明&見学(30分)

※保護者と体験者が、後で話題になるような情報を提供する。

10:30 体験者の部(公園全体)(75分)

ドームテント設営体験(30分)+休憩5分

※体験者は2組に分かれて、どちらのチームが上手くテントを設営できるか

競う

緑ヶ丘公園探検体験(35分)+休憩5分

※体験者は、2組に分かれる。

緑ヶ丘公園の地図と体験指示書を渡す。

渡された写真の写っている場所を見つけて、地図に印をつける。

これらのゲームは、ボーイ隊スカウトが主導して行う。

隊長は、後ろで補佐する。

11:45 閉会式

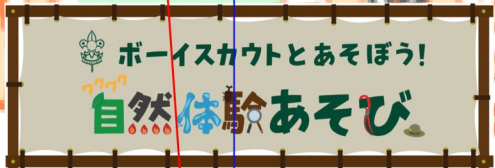
1. 川端沖縄県連コミッショナー挨拶

2. 閉会の辞(吉元副団委員長)

12:00 解散

1:1,250

みどりがおかこうえん たんけんちず



青い線のうちがわが、たんけんのはんいです。

牧志一丁目

くもじにいづ館

開閉会式

ロープワーク
テント設営



那覇第4団

4
3
2
1
0

0 1 2 3 4 5 6 7



このたてもののばしよ①を、ちずに書きなさい
このたてものは、何ですか？（答： ）



まんなかの木のばしよ②を、ちずに書きなさい



○じるしもののばしよ③を、ちずに書きなさい
これは、何にていますか？（答： ）



まんなかの木のばしよ④を、ちずに書きなさい
この木のR3年9月8日のちよつけいは、何cmですか？



まんなかのものばしよ⑤を、ちず書きなさい
これは、何にていますか？（答： ）



まんなかの木のばしよ⑥を、ちずに書きなさい



○じるしの木のばしよ⑦を、ちずに書きなさい



○じるしの物のばしよ⑧を、ちずに書きなさい

ワクワク自然体験遊び(緑ヶ丘公園で遊ぼう)シナリオ(スカウト用)

開催日時: 2022年9月18日(日)10:00~12:00

場所: 緑ヶ丘公園 くもじ・にじいろ館前広場

対象: 体験参加者(小学2年生~4年生)とその保護者

人数: 親子10組(20名程度)

1. ロープワーク体験(15分間)
2. ドームテント設営体験
3. 緑ヶ丘公園探検体験

09:30 スタッフ集合・準備開始

09:45 受付開始時に、1mくらいのロープを一人一本ずつ渡し、ロープワーク体験へ誘導する。

準備品: 長さ1mのパックロープ 30本

10:00 ロープワーク体験(15分間) 場所: くもじ・にじいろ館前広場

おはようございます。今日皆さんと一緒にさせていただきます那覇4団ボーイ隊の**と**です。
これから簡単なロープワークと一緒にやってみましょう。

まずは、「8の字結び」をやってみましょう。

わたされたロープの両端に「8の字結び」して、ロープがほつれないようにしましょう。

(やってみせる)(指導者と一緒にフォローする)

できましたか?

それでは次に「本結び」をやってみましょう。

「本結び」は、同じ太さのロープを結ぶ時の基本の結びです。

太いロープや、太さの違うロープや、材質の違うロープを結ぶのには不向きです。

渡されたロープの端と端を使って「本結び」をやってみましょう。

(やってみせる)(指導者と一緒にフォローする)

できましたか? できた人は「本結び」をほどいてください。

それでは次に「一重つぎ」をやってみましょう。

「一重つぎ」は、太さの違うロープや、材質の違うロープをのつなぐときの結びです。

今日は渡されたロープの端と端を使って「一重つぎ」をやってみましょう。

(やってみせる)(指導者と一緒にフォローする)

できましたか? できた人は「一重つぎ」をほどいてください。

(時間があまったら、もう一度「本結び」「一重つぎ」をおこなう)

<<開会式を行う>>

10:30 ドームテント設営体験(30分) 場所: くもじ・にじいろ館前広場

準備品: 2名用ドームテント 2つ

展示用ドームテント 1つ(ロープワーク体験の際、指導者でたてておく)

これからキャンプの基本、テント設営を体験してもらいます。

今日は、ドームテントを2つ準備しましたので、2つ班にわかれて作業をしましょう。

(適当に2つの班にわけ)

(1班: ボーイ隊スカウト1名&隊長1名で指導する)

(2班: ボーイ隊スカウト1名&隊長1名で指導する)

(テントの撤収まで、体験参加者に行ってもらいたいが、時間がない場合スタッフでおこなう)

11:30 緑ヶ丘公園探検体験(45分) 場所:緑ヶ丘公園全体
準備品:公園地図(30枚) 体験指示書(2部 30枚)
下敷き(30) エンピツ(30)
シルバコンパス(2つ)ボーイ隊スカウトが持つ

これから緑ヶ丘公園探検をしてもらいます。

これから一人ずつ公園地図と探検指示書 no1 と配布します。

(指導者が配布する)

これから地図の説明をします。

この地図の薄い緑色の部分が緑ヶ丘公園です。今日はこの範囲内で活動します。

ボーイスカウトがよく使う地図には、座標軸と磁北線、縮尺が書かれていますが、本日は簡略化のため、磁北線は省略します。

この地図の縦横の線を座標軸といいます。今日の地図は、4cm 間隔で引いてあります。

左上に 1:1,250 と書いてあるのは、縮尺といいます。

地図上の 4cm は、実際には 50m の距離があるという意味です。

これらのくわしいの説明は、正式にボーイスカウトになったらしたいと思います。

(シルバコンパスをとりだして)これはシルバコンパスというもので、北の方向を知るためのものです。

このコンパスの赤い針は、この方向を指していますので、この方向が北になります。

そして、配った地図は上が北ですので、地図の上の方をこの方向に向けてください。これによって、地図と現在地を正しく比較する事ができます。

これで、地図の説明を終わります。

次に探検指示書 no1 をみてください。

探検指示書 no1 には、8つの写真があります。

これらはすべてこの緑ヶ丘公園内で写したものです。

この写真に写っている木や構造物を見つけて、この公園地図にその番号を書いてください。

また、指示書に質問がある場合は、その答えをこの指示書に書いてください。

時間になったら、この笛で合図をします。

・集合 一……(長音、単音 4) ピー ピッピッピッピッ

この笛の合図を聞いたら、すべての作業を中止して、笛の鳴っている場所に集合してください。

それでは、地図と指示書を持って作業を開始してください。

(時間前に、終わった体験者には、体験指示書 no2 を渡して、これをやらせよう)

(時間になったら、笛を鳴らして集合させ、にじいろ館前に集合する)

2022年10月12日

ワクワク自然体験遊び（緑ヶ丘公園であそぼう）
感染防止安全計画

1. イベント概要

開催日時：2022年11月20日（日）10:00～12:00

場所：緑ヶ丘公園 くもじ・にじいろ館前広場

対象：体験参加者（小学2年生～4年生）とその保護者

参加者人数：親子10組（20名程度）

スタッフ人数：10名

2. 主催者：ボーイスカウト沖縄県連盟 那覇第4団

責任者：団委員長 松本進

3. 感染防止安全計画の立案について

今回イベントについては、以下のガイドライン・対処方針に基づき、感染防止安全計画を立案します。

① ボーイスカウト日本連盟「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（添付資料1）

② 沖縄県「BA.5対策強化地域」指定に伴う沖縄県対処方針

詳細は、沖縄県のHPを参照

<https://www.pref.okinawa.jp/site/chijiko/koho/corona/220901.html>

4. 感染防止安全計画

① 参加者名簿を作成し、参加者を把握します。

② 受付時に、検温し体調確認をします。

③ 手指消毒用アルコールを準備し、除菌を徹底します。

④ イベントは、屋外にて行います。

⑤ イベント中は、マスクを着用します。

⑥ イベント中は、大声を出さないよう指導します。

⑦ 熱中症対策のため、周囲の人と十分な距離をとって休憩し、水分補給をします。

以上



TOP 特徴 契約条件 保険料例 申込みと保険金受取の流れ 注意事項

保険の申込み

ネットで簡単！ レクリエーション傷害保険

引受保険会社：MS&AD あいおいニッセイ同和損保
(2022年3月承認) B21-104791

オンラインで365日24時間、簡単お申込み可能。
行事やイベントでケガなどをしてしまった場合に補償いたします。



いつでも 簡単に お手続き



いつでも ネットで契約完了

- ☑ 印鑑不要
- ☑ 現金不要
- ☑ 来店不要

レクリエーション傷害保険

歩こう会を1日開催する場合
1名あたり **50円** (20名で1,000円)

入院日額 5,000円 通院日額 3,000円 死亡・後遺障害保険金額 800万円の場合
最低保険料は1保険契約につき1,000円になります。

[保険料シミュレーション&ネット申込みはこちら](#)

運動会 歩こう会など、次の休日は
みんなが楽しみにしているレクリエーション行事です。

でも万が一参加者がケガをしたら…。

サッカー大会で参加したこどもが骨折をした。治療費は・・・

レクリエーション傷害保険はどこで加入したらいいの？

保険には加入したいけど、手続きが難しそう



ボーイスカウトとあそぼう!

自然体験あそび

くもじ たろう

ボーイスカウトとあそぼう!

自然体験あそび



那覇第4団の
紹介ページはこちら



ボーイスカウト沖縄県連盟の
ホームページはこちら



ボーイスカウトについてはこちら→
なろう。一人前に。



那覇第4団の
紹介ページはこちら



ボーイスカウト沖縄県連盟の
ホームページはこちら



ボーイスカウトについてはこちら→
なろう。一人前に。

2022年度

ボーイスカウトとあそぼう！ ワクワク自然体験あそびマニュアル



公益財団法人

ボーイスカウト日本連盟

SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

1 2022年度の「ワクワク自然体験あそび」について

今年度の本事業は、昨年度に引き続き、日本連盟の独自事業となります。本事業の趣旨としては、これまでと同様に、各地域の感染状況及び感染防止に十分留意した上で、自然の中での体験活動を充実する取組みを全国的に展開することで、子供たちを取り巻く環境に生じている閉塞感を打破するとともに、子供たちの元気を取り戻し健やかな成長を図ることにあります。

なお、エントリーシステムは4月9日（土）から稼働し、本事業の実施は令和5年3月31日までとします。

なお、本事業の対象者は、団、地区、県連盟などの実施主体で決めてください。

※令和2年度は文部科学省受託事業（子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業）として実施しました。

2 本事業におけるスカウト募集について

本事業の目的は、1で述べたとおりであり、事業に参加をする子どもたち、保護者は自然体験活動をしたい、させたいということで参加します。まずはこの趣旨、要望に十分に応えていただき、そのうえで、参加者やその保護者にボーイスカウトの資料を渡したり、活動の紹介をしたり、さらには、次回以降の隊集会などへの参加を誘うなどを行ってください。関係者においては、スカウト募集につなげたいという思いが強くなるかと思いますが、参加者は、「ボーイスカウトに参加したい」のではなく、まずは「自然体験活動をしたい」という思いで参加をしています。スカウト募集を全面に押し出すことがないようにご注意ください。

特に都道府県市区町村、都道府県市区町村教育委員会の後援を申請する際も、「スカウト募集」等の言葉が事業目的やチラシ等に記載されていると「公益性が無い」と判断され、申請が認められない場合があるので、ご注意ください。

3 「そねえよつねに共済」について

昨年同様、日本連盟で「そねえよつねに共済」の共済掛金の負担はしません。必要に応じて、それぞれの実施主体で共済への加入をするか、スポーツ保険等をご手配ください。

4 新型コロナウイルス感染症の対応について

日本連盟から現在、一律で各地域の活動自粛の対応は要請していませんが、各地域の感染症拡大の状況にしたがって、県連盟の方針に則り、活動実施可否などの判断をお願いいたします。

事業を延期とされる場合は、感染状況が落ち着くことが前提となりますが、気象条件等を考慮されつつ、令和5年3月までの間に可能な範囲で実施していただくようお願いいたします。

感染症対策の一つであるマスクについては、参加者には持参するようお願いをしたうえで、念のために予備を用意するようお願いいたします。ただし、活動内容では熱中症などを含めて「マスク」をしない対応も必要です。「スカウト活動における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」にも記載がありますので、この点もご確認ください。検温については、通常の活動と同様の対応としてください。

また、万が一、本事業の参加者に発熱等の症状が出た場合には、県連盟の指示にしたがって、関係機関に報告をすると共に、参加者への連絡をお願いいたします。

5 「子ども自然体験活動推進協議会」について

一昨年度、県連盟ごとに設置した「子ども自然体験活動推進協議会」設置の必須ではありません。しかしながら、この2年間の事業で構築できた地域、学校、各団体等との関係性を維持できるよう協議会を設置したいとお考えがある場合は、設置しても差し支えありません。

6 都道府県・市区町村等の後援名義の取得

一般的に、都道府県・市区町村や教育委員会の後援は「名義後援」とあって、一定の基準を満たしている場合は申請書を提出するだけで簡単に手続きができます。都道府県・市区町村によって、この基準は多少異なりますが、概ね次の3点を満たしていることが必要です。

- ・公益法人等の公共性の強い団体や法人格を有していなくても公共の福祉に係る事業を行うことを主たる目的としている団体が主催していること。
- ・堅実な活動実績があり、事業遂行の意志及び能力が十分にある団体であること。
- ・公共の福祉（青少年の健全育成など）のために奨励すべきもので、かつ域内での行事であること。したがって、「スカウト募集」を目的とした場合、一般的には後援は認められません。

この「名義後援」の承認が得られると、チラシ等の広報媒体に「後援：●●県（市区町村）・●●県（市区町村）教育委員会」と明記できるようになります。その他の便宜供与は特に無いのが一般的ですが、市区町村によっては域内の小学校や中学校にチラシ等を配付してもらえる場合があります。便宜供与が一切無くても、チラシに都道府県・市区町村や教育委員会が後援をしていることを記載できれば、それだけでそのイベントの信頼感を高めることができ、参加者を増やす1つの有効な手段になりえます。

申請の手続きは、都道府県・市区町村の青少年行政所管課、教育委員会の生涯学習所管課となります。市区町村の定める申請書のほか、事業計画書が必要になります。また、終了後には簡単な報告書を求める市区町村もあります。

団が個別に申請するのは煩雑になりますので、地区で一括申請することをお勧めします。ただし、都道府県・市区町村によっては、一括申請を認めていない場合がありますので、一度、役所、教育委員会に早めにご相談ください。

【一括申請をする場合】

- ・主催を各団ではなく地区とすることが必要です（＝事業計画書を地区単位で作成）。
- ・チラシ等の広報媒体には、全ての体験活動の日時、場所の記載を求められることが多いです。

7 体験活動を展開する上でのポイント（一例）

(1) 受付時

- ①本事業用にデザインした別にお示しする「名札」を用いてください。参加者の氏名を事前に名札にプリントしておく場合は、間違いのないようにダブルチェックをするなどして充分気を付けてください。保護者は我が子の名前を間違われただけで、不信感を抱きます。
- ②学年によっては、名札の名前を平仮名書きにするよう配慮してください。
- ③名札の裏面は敢えて作成をしていませんので、団で自由に使ってください。団の紹介（ホームページのQRコード）や参加者の学校別学年別の人数など記載しておくのも効果的です。保護者は、心理的に我が子の名前を書いてあるものは捨てにくいものですから、名札もPRツールになり得ます。

- ④受付では、本運動の普及啓発資料を保護者にお渡しください。なお、その際は、**団の紹介**や**月間プログラム**なども一緒に渡すようお願いします。日本連盟の作成する普及啓発資料は、全国で使用するものですから、概括的なものにならざるを得ません。「体験活動で、ボーイスカウトのパンフレットを貰ったが、自分の子どもが具体的にどんな活動をするか分からない」という声は保護者の間に根強くあります。個別具体の活動内容が分かる資料は、必ず普及啓発資料と一緒に渡してください。

(2) 受付終了後

受付が終わってから本事業の開始までは、一度参加者を保護者の元に戻したり、ただ待ってもらうことはせずに、ベンチャースカウトやローバースカウトと一緒に簡単なゲームなどをして過ごすと、参加する子どもの緊張感が和らぎ、体験活動にスムーズに入り込めます。

(3) 体験活動中

- ①参加者は、初めてスカウティングに接する子どもですから、あまり形式的な開会セレモニー等を実施するよりも、柔らかな雰囲気の中で体験活動を始めるのも検討に値すると思われます。
- ②本事業においては、可能な限り、ベンチャースカウトやローバースカウトに活躍の機会を提供いただくようお願いします。そして、保護者には「この活動を続けると、将来、このような青少年に育ちます」という説明をしてください。我が子の将来の姿を想像できると、「ボーイスカウトに我が子を入れてみよう」という意識は高くなる傾向にあります。
- ③一般的に、保護者は我が子の様子を見ていたいものです。したがって、一定時間は、自由に活動の様子を見てもらうことも大切です。その際に、成人指導者が活動の目的や意義を個別に説明すると、保護者の興味と関心をボーイスカウトに向かせることができます。
- ④しばらくの間、活動の様子を見てもらったら、保護者を集めて受付時に配付した資料を用いてボーイスカウトのことを説明してください。普段、団で行っている説明会の内容で結構ですが、その際のポイントは後述します。

8-1 保護者に響く「ボーイスカウト」についての説明のポイント①

一般的に、保護者はわが子の成長に次のようなことを期待しています。以下に挙げる視点からこの運動の特徴を説明してください。

(1) リーダーシップを発揮できる子、自ら発言・自己表現できる子になって欲しい。

普段の生活の中でリーダーシップを発揮できる機会が少ない子にも、ボーイスカウトでは、指導者が意識的にその場を作っています。活動の中では、それぞれの役割に応じて一人ひとりのスカウトがリーダーシップを発揮する場があることなどを説明してください。また、発表や自己表現の場は、どのスカウトにも平等に機会があることを併せて説明してください。

(2) 野外で活動をさせたい。

ボーイスカウトは「野外が教場」であることを説明してください。ただし、発達段階に応じて5つの部門があり、年齢に応じて、累進的に活動を行っていることを説明しないと、ビーバー部門で過度な野外活動を期待し、失望させてしまう可能性があるため、注意が必要です。

(3) 判断力、考える力を持たせたい。

この運動の成り立ちは、「Scouting for Boys」を読んだ少年たちが自然発生的にその真似を始めたことにあります。この成り立ちから、伝統的にボーイスカウトは子どもたちの自発性を大切にしています。この自発性を大切することこそが、考える力を育む大きな原動力となっていることを説明してください。

8-2 保護者に響く「ボーイスカウト」についての説明のポイント②

この運動の特徴を次の視点から保護者に説明を試みてみてください。

(1) キーワード「仲間」－家庭でも、学校でもない仲間と居場所がある。

- ① 一生付き合っていくことのできる仲間と出会える。
- ② 仲間の中で一人ひとりの個性を活かし、認め合いながら成長することができる。
- ③ 他の学校、異年齢の仲間と関わりを持つことができ、子どもの居場所が増える。
- ④ 世界中に同じ仲間がいる。
- ⑤ 共に挑戦する仲間がいて、それを見守る指導者がいる。

(2) キーワード「自然」－野外活動を通じて、「生きる力」を身に付ける。

- ① 自然の中で活動し、日常生活では得られない体験を通じて、子どもが自分自身で成長していく。
- ② (昨今の防災意識の高まりを受けて) 普段のボーイスカウトの活動が、防災プログラムに繋がっている。

(3) キーワード「挑戦」－困難なことでもあきらめないでやり遂げる力を身に付ける。

- ① ワクワク、ドキドキ、そしてちょっとハラハラするプログラムを展開している。
- ② 仲間と共に、考えて、工夫して、失敗して、遅くなる。
- ③ 目標に向かって、仲間と考え、助け合い、協力することの大切さを体験を通じて学ぶ。
- ④ 家庭では体験できない、年代に応じたダイナミックなプログラムがある。

(4) キーワード「多様性」－ボーイスカウトの持つ雑多さがスカウトを遅くする。

- ① 学校とは異なる別のコミュニティを持つことになる子どもたち。
→ 1つの学校からでなく、複数の学校からスカウトが集まっているので、スカウトにとっては学校の人間関係とは別のコミュニティを持つことになり、人間関係に深みが出る。
- ② 子どもたちを見守る様々な価値観を持った指導者たち。
→ 多くの指導者がスカウトたちを見守る。その指導者たちは、年齢も職業も様々で多様な価値観の集合体であり、その様な価値観を通して1人のスカウトの成長を支援していく。親や学校の先生以外の大人に子どもが褒められたり、相談できたりする点に魅力を感じる保護者は多い。
- ③ どんな子どもでも何か興味を持てるバラエティに富んだプログラム。
→ 野球やサッカーなどの体育的活動、ピアノや書道のような文化的活動であってもそれだけの活動となるが、ボーイスカウトは進歩課目を通じて様々なことを経験する。

9 「体験活動ノート」の提供

「体験活動ノート」は、日本連盟の事業ホームページからダウンロードしてお使いください。

10 募集中チラシの提供について

(1) フォームの提供

募集中チラシのフォームは引き続き提供しますが、団でオリジナルのチラシを作成していただくことも可能です。その場合でも、事業名は「ボーイスカウトと遊ぼう!ワクワク自然体験あそび」とし、本事業のロゴマークは掲載していただくようお願いします。

(2) 作成にあたって

「開催場所」や「持ち物」欄には、誰が見てもわかるような表現にしてください。「団ハウス」や「マイカップ」と書かれても、一般の方には馴染みがありません。

(3) 配付について

1つの小学校等に複数の団からチラシの配付の依頼があり小学校等から「困惑した」とのご意見がありました。配付する小学校等が同じになりそうな場合は、近隣団と調整のうえ、チラシを1枚にまとめる等の配慮をいただくようお願いします。

11 日本連盟が交付する補助金について

(1) 補助金の趣旨、交付額など

- ①日本連盟は、事業実施主体（団、複数団による合同、地区、県連盟）が事業を周知し参加者を募集するために必要な経費、その他本事業に必要となる経費の一部として、1会場あたり5,000円を交付します。
- ②同一の事業実施主体の場合、補助金の交付は3回を限度とします。
- ③補助金は、県連盟に対して実施総回数に5,000円を乗じて得た金額を交付します。ただし、同一の事業実施主体が3回以上実施した場合、3回を超える分についてはその回数分を減じます。

(2) 補助金の申請

- ①県連盟内の全ての事業が終了したら、補助金申請書に実績表を添えて日本連盟事務局に提出してください。
- ②新型コロナウイルス感染症の影響等やむを得ない理由で事業を中止とした場合でも、チラシ印刷等の準備をしている場合は、5,000円の補助金は交付します。
- ③申請書は、日本連盟事務局に3月21日（火）までに必着とします。3月21日（火）までに全ての事業が終了しない場合は、日本連盟事務局（taiken@scout.or.jp）まで御相談ください。